

教職員・院生版生協だより

No. 247

2003年 5・6月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎ 学内線 7540, 学外線 781-1111

かけはし



ほら、凍ったでしょ

水が凍るシミュレーションを説明する大峯巖理学研究科長

名大生協のホームページ (URL) <http://www.coop.nagoya-u.ac.jp/>
教職員委員会への e-mail あて先 kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

も く じ

主張《第75回通常総代会に意見を出し参加しよう》	3
生協への期待－研究科長へのインタビュー③	
大峯巖理学研究科長	4
【企画案内】	
北部生協まつり・教職員委員会の企画案内	14
新入教職員・院生歓迎生協ガイダンス特別講演	
「地震！ そのときあなたは？ －揺れと被害－」	15
名大祭「ミニ平和資料館」に集まれ！	16
【報告】	
イラク攻撃に対する理事会アピール	17
教職員委員会の活動日誌	19
【記事】	
投稿「チリにて」	18
私の百名山「平ヶ岳」	20
新フィールド・ノート－その76－「花見」	24
魔言「きれい好きが汚している」「メイクアップ」	25
かけはしの輪	26
アンケート・クイズ解答用紙	28
CO-OP QUIZ<Logic>	29
第75回名大生協通常総代会の開催公示	裏表紙



水が凍るシミュレーションを説明する大峯巖理学研究科長

表紙のことば

3月27日、かけはしのインタビューで理学研究科長室に大峯巖教授を訪ねた。先生の最近の研究から純粋は凍るのかという研究をスーパーコンピュータを使って6年計算させてやっと凍らせたという。そのシミュレーションをパソコン上で再現していただいた。水分子が自由に空間を飛び回っている映像から少しずつ水分子同士がくつき始め、最後には全く動かない状態となり、三次元のきれいな構造ができあがると、満面に笑みをたたえて、「ほら、凍ったでしょ」と締めくくった。

主張

名大生協は2月で2002年度の決算を終え、現在、新入生を温かく迎える新学期活動を終え、1年の総決算と言わべき総代会の準備に理事会、組織委員会が頑張っています。

当初、失政による長引く不況により事業剰余は赤字ということでしたが、専従職員の努力、経費の節減、そして何よりも組合員の皆さんのご利用のおかげをもちまして、事業剰余で数年ぶりの黒字とすることができました。厚く御礼申しあげます。

昨年の秋、名大生協は創立50周年を迎え、今年1月の記念式典において10年後の「ビジョン」と「アクションプラン」(案)を発表しました。この「アクションプラン」につきましては総代会前の議案書説明会や生協通信を通じてご

意見・ご提案をいただきながら、5月30日(金)夕方に予定しています第75回通常総代会におきまして決定し、生協の更なる充実を目指した実行計画作成に向けて、組合員の皆さんとともに邁進したいと考えています。

総代会は生協の最高決議機関で、前年度の活動報告と決

第75回通常総代会に

意見を出し参加しよう

ぜひとも総代になっていただくようお願いします

算の承認および今年度活動方針と予算、新役員を決定する重要な会議です。今回の総代会の運営につきましては、総代会プロジェクト(各組織委員会代表と専従職員で構成)で鋭意検討を加え、これまでの分科会やグループ討論から色々な活動テーマについてポ

スターセッション形式で行う予定にしています。以前の場合、時間の制約などから自己紹介や討論内容の説明で終わってしまったようなところがありません。今回は時間をしっかり決め、各テーマにより、発言者はポスターを準備しセッション形式での報告と質疑・討論を行います。これ

人が意見の交流出来る機会を作る」

「それぞれのテーマに取り組んでいる人が、その成果や取り組んでいる理由について、組合員の代表たる総代・生協委員に説明する機会を作る」

大きなジャンル別のテーマは「研究生活の支援」「学びと成長」「平和・環境・安全」「外コミ・文化交流・留学」「食生活・環境」「組織委員会の活動その1」「組織委員会の活動その2」「健康&七代戦」などについて行う予定にしています。

現在、議案書の作成を行っています。このあと総代の選出を行う予定です。もし、組合員の皆さんのところへ総代の要請依頼書が届きましたらご一読いただきまして、ぜひともご意見・ご提案を出していただくとともに総代になっていただきませう、よろしくお願いいたします。

生協への期待—研究科長へのインタビュー ③

大峯 巖

理学研究科長



大峯 巖 (おおみね・いわお) 教授
理学研究科 物質理学専攻 化学 理論化学研究室
理学部・理学研究科長

研究内容は <http://www.chem.nagoya-u.ac.jp/og/index.phtml>

僕の専門は「水」

今井 生協創立50周年の記念行事にご出席くださいましてありがとうございます。ありがとうございました。

大峯 こちらこそ招いてくださってありがとうございます。

加藤 研究科長にインタビューするのは3人目ですが、これまで先生方がご専門になさっている研究の話は読者の方も喜んでいただいていますので、まず、先生の専門の

間においてどう凍るか。水は0度で凍ると思われていますが、実際にはゴミとかいろんなものがあるからなんです。静かな振動のないところに置くとマイナス46度くらいまで凍らないんですよ。しかも本当の純水が凍るかということはわかっていないんです。誰も実験したことがない。そんな純粋な状態は作ったことがない。この純水、

話から……。

大峯 僕の専門は「水」で……、水が専門。水なんて何やるのかということですが。水はそこら中にあるわけ、その性質というのは分かっているようでわかっていない。こちらへんが禅問答になるんですが……。

最近やった仕事の中でまあまあ仕事だと思うのは「水がいかに凍るのか」ということです。馬鹿みたいな話ですが、水は冷蔵庫に入れば凍りますからねえ。ところがこれがゴミのない、重力のない、容器のない空

H₂Oの集まりが本当に凍りえるのかということにチャレンジして、6年かけたんです。どうやったかというと、僕は理論家ですから水と思われるものをコンピューター上に作り上げる。コンピューターの上でH₂Oの集まりを作った。こんなふうにはH₂OとH₂Oがあつて……。後でお見せしますよ。とにかく水をコンピューター上で凍らせるのに、スーパーコンピューターを6年間使い続けた。それでやつと凍らせました。

ここでは何が問題かというと水というのは乱れた構造をしています。一方氷というのはきちんとした格好(結晶)をしています。この二つがどういふふうにつながっているかということです。H₂OのHというのは少しプラスに帯電している。Oはマイナスに帯電している。どうしてかという酸素のほうが電子を引き寄せる力が強いので、電子がH(水素)から少しO(酸素)のほうに引き寄せられる。ですから水分子というのはこういう形をしています。プラスとマイナスのかたまりである。プラス、マイナスの分子があるときぎにこっちからプラスマイナスがやってくる。そうするとこのHプラスとO



「ほら、水が凍ったでしょ」(大峯 巖教授. 3月27日、研究科長室にて)

水はマイナス46度まで凍らないんですよ。
 本当の純水は果たして凍るかどうかも…

水が凍ることがなぜ重要か分りにくいでしょうね。

とがくっ付こうとする。そういうふうに出上がっていく。それが水素結合というものです。液体の水では、水分子が動き回っていて、ほとんど水素結合の構造を変えていく。沢山の水分子が作る水素結合の形は三次元的に乱れたネットワークの形をしておりそれが時間とともにどんどん変化していく。後でビデオで見せします。乱れたネットワークがどういふふうになるのか。すなわち「混沌の中からいかにきちんとした構造が生まれてくるか?」ということが基本的問題です。このような問題はありとあらゆる現象に存在します。そういうことをやるのに6年もかけてきた。「水が凍るが大切なんて」聞いていてキツネにつままれたような話でしょうけど、この論文がネイチャー誌のトップ論文(平成14年3月28日号)になりました。A新聞の人が分からないからと来られて、僕の説明を3時間も聞いて、もっと分からなくなつて帰っていかれました。

基本的には全く役には立ちませんが、でもとても役に立つという面もあります。きれいな水になると体積がふえます。どうしてかという、きれいな構造とは水分子同士(OとH)のくっ付き方が変わり、蝶番(水素結合の線)が真っすぐになり、水の体積が水の体積より増える。このように凍ると体積が増える物質は、ネットワークを作る物質にたくさんあります。例えばガラスもそうです。ガラスも乱れているが、これをきれいな結晶(水晶)にすると体積が増えます。シリコンもそうです。しかし身近な一般の液体としては水しかありません。アルコールも冷やすと体積が小さくなります。身体の凍傷も温度が下がって水が凍り体積が増えるために細胞膜が破れてしまふ。レタスも冷凍庫に入れて置いた後、温度を上げるとグチャグチャになるでしょ。レタスの中には液胞というものがあって水を溜めておきますが凍ると大きくなり10%体積が増えて細胞膜がやぶれグチャグチャになる。ではそうしないで凍らせられないか。要するに「液体の水の格好の乱れたまま



わかるかもしれない。そういう意味では世の中の役に立つかもしれない。

われわれはそんなことよりもただ水を凍らせてみたいんです。コンピュータが始まってしまいましたが、分子がどうやって運動しているか、そのモデルをコンピュータ上で動かす。ニュートン方程式で沢山の分子同士が近づいたり離れたりする。運動エネルギー（温度）を与えると当然運動する。運動をシミュレーションする人がいて、例えば丸い分子（または原子）はすぐ結晶化する。しかしコンピュータシミュレーションが始まってもう50年経ちますが水だけは凍ったためしかなかった。だから人のやらないことをやりたくなった。研究者として、コンピュータシミュレーション屋としては絶対やってみたかった。で、6年かけたんです。途中で何がおこるかというところが凍るよりも先に学生が凍りつ

くんです（笑）。「ああ、先生どうしましょう」「どうしようもこうしようもあるか。やれー」（笑）。

水にはおもしろい問題が沢山あります

これ以外にも水にはおもしろい問題が沢山あります。例えば、水の中の酸の移動の問題。酸というのはプロトンですね。Hプラス（+H）、水素から電子が一個飛んだものがプロトンですが、プロトンが移動するというのが、生物が生きていることの源のエネルギーをつくっています。例えば光合成ユニットの中で、光合成しますがその最初のプロセスは、葉緑素の中にアントナユニットがあつて光を受けます。それが移動していつて、光合成センターにいつて電子を分子から遊離させ、その電子がキノンに行くとき、そこにプロトンがやってくる。その電子のマイナスの力でプロトンを呼び寄せる。そしてそのプロトンがキノンに付くと、どういうわけかキノンは別のところに移動して行く、即ちプロトンを運ぶ作業を行う。そういう過程には必ず水分子がからんでいます。生体高分子（光合成反応ユニット）

の中にも水分子が沢山あつて、タンパク質と水素結合ネットワークを作っています。その水素結合の鎖を伝わってプロトンが移動していく。実は、このプロトン移動の問題というのは難しく、特に（純粋の）水の中のプロトン移動は200年間解けていなかったのです。グロータスという人が1801年、水の構造も知られていなかったのに（僕はオリジナル論文も読んでみたくありませんが、一度読んでみたいと思つていのですが）、なにして200年前にグロータスが、プロトンが水の中を移動するという問題を見つけた。一番簡単な酸（Hプラス）が水の中をどうやって移動していくか、この機構が200年間わかつていなかった。それが最近解けました。7年前、我々のところの（当時）4年生の女子の学生さんが解いた。そのときは世界で4グループが同時に解いた。おもしろいもので研究というのは解けるときはだいたい一緒が多い。「ああ解けた！」と思つたら周りを見回す（笑）。案の定そうだったかと。それから、水の中のプロトンの濃度、pHが7ですが、どうして7かというものが最近やっと分かつてきた。それからスーパークリティカ

凍らすことができないか。これはアモルファス状態ですね。これはやれないことはない。冷たい中に突然にばーと入れればいい。だから液体窒素に金魚を入れて戻すとまた戻りますね。けっこうダメージは受けていますが。人間・犬・猫などの温体動物はだめですね。冷えていく過程でどんどん細胞を壊していつてしまふ。冷凍保存の技術で細胞膜を壊さないかどうかは大きな問題なんです。その逆できれいな結晶構造がどうしてできるかがわかればそれを防ぐ方法が

ルウオーター「超臨界状態の水」といって、高温と圧力の高い水というのは何でも分解する。ダイオキシンでも分解します。一般にはダイオキシンというのはなかなか分解できない。ドロドロしていて水と油と混ぜてもなかなか混ざらない。そういうスーパークリティカルは約200気圧、温度は300から400℃でこれは液体でも気体でもない状態。そうなるかどうかと混じる。ダイオキシンをどんどん分解する。そのメカニズムは何かというところもありよくわかっていない。多くの人は水のこととは分かっていると思っているのですが、まったく違うのです。また約100万気圧という非常に高い圧力下の水はプラズマ状態になり、+Hがぐるぐるまわって電流を流すと考えられています。海王星という惑星があります、その磁化の状態がおかしいのですが、このようなプラズマ状態の水が原因ではないのかといわれています。宇宙スケールになるとそういうことは沢山あ

る。地球の内部にもある。だから水というのはそう単純なものではありません。一度水を研究しだすと止められない。僕は数学から始めて物理に入りそして化学にいき、そして今はどれでもない。僕と同じような人たちの今の興味の中心は、液体の水が生物なんです。水はやり出したらやめられない。こんなシンプルなものかわからない。人間として「しゃく」じゃないですか。わかりそうでわからない。これにつられてずうつとやっています。こういうのを「水商売」といいます(笑)。一回やったらやめられない。人生の転落のもとです(笑)。

生物分子の反応は、ここからアリゾナの蟻塚へ行くようなもの

僕自身は本当は励起状態の分子の研究、ノーベル賞の白川さんがやられたポリアセチレンという物質があるんですが、あれに近い物質、例えば眼の中のカーボンの

チエーンが光を受けるとくるつとまわって目が見える。ああいうポリエン系(パイ電子系)という分子の性質、光と運動の関係を調べていました。そういう分子が液体「水」の中でどんな変化をするのかを調べ始め、水にトラップされて約20年間が過ぎ、人生も終わりに近づいてきました(笑)。今は、「分子から見ると生物の生きるもとは何か」を調べ始めています

揺らぎが大きいから水のおもしろさがあるのですが、生物もそうです。生物の反応の基本は「生物分子ではなぜ反応が一意に起きるのか」です。一意とは何かと言うと、生体高分子は複雑な分子なのでいろんなことが起こってもいいはずなのに、必ずある反応からある反応へ起こる確率がほぼ100%に近い。今までの化学では反応をAからBという状態へ行かせたい時には、大きくエネルギーを消費させ一方向に向ける。生物ではエネルギーをほとんど消費せず起こる。それはなぜだろう。生物分子の反応は、こ

こからアリゾナの蟻塚へ行くようなものです。その間には山あり谷ありですが、なぜそこに行けるのか。先ほどの水化の問題もそうです。乱れた構造は沢山あってエネルギーの低い状態も沢山ある。山ほど乱れた構造がたくさんあってエネルギーの低い状態があるのに、それより少しだけエネルギーが低いけど1個しかない構造にどうして必ず行けるのか。これがわれわれの基本的疑問です。だから生物反応も含めてなぜそのようなことが起きるのか。どうして一方向へ必ず反応が流れて行くのか?。いま、系は「ある大きさ」とどこかに矛盾を含まなければ、そのような反応の一意性が起き得ないと考えています。では生体分子では本当にそうなっているか。われわれ理論家というのはそういうふうに仮定して「信じて」それを一つひとつ検証していきます。実は、このような研究目的で特別推進という科学研究費を戴いたので、始めようと思っていたら、今年の1月から研究科長になってしまい困っているんです。

自然の原理というのはシンプルじゃないですか。そのシンプルさが分からない。分かったときにつ

こんなシンプルなものが分からない。
人間としてしゃくくないですか……

僕は「愚」から「大愚」にいたる道が

研究であると思っております……

くづく自分がバカだと思う。すごくシンプルなのに分からない。研究者はある部分非常に謙虚です。

うな……そんな仕掛けがよく似てるなあと思いました。

取りをさせると、系が一番いい状態に入りやすいんです。

自分がバカだと身にしみています。でも一方では、少なくともこの分野に対しては人よりも多少頭がいいと信じ込み（そんなことはまったく無いのですが）、自分を鼓舞する。自然に対しては謙虚、人間に対しては尊大です。尊大なやつほど謙虚なことがあり得るんです。だから人というのは分からない。研究は自分がバカだということが分かることが第一歩ですね。これを僕は「愚」から「大愚」にいたる道が研究であると思っています。大愚とは何かというと、本当に分からない部分が本当に分かる。これがとても大事で、真実は分からなくても嘘はすぐ分かる。聞いた瞬間に分かるようになる。少なくともそう思っています。

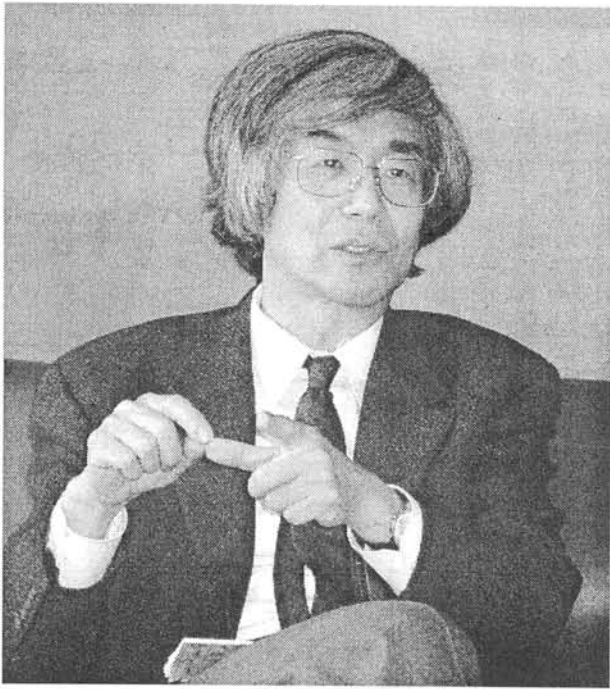
大峯 それラチエットモデルと違ってファイマンという物理学者が言っていたし、生体分子の研究で有名な柳田さん（大阪大学）も言っていますよ。あまり大きなシステムはおもしろいことができない。一方あまり小さいと揺らぎが大きすぎる。まあ夫婦喧嘩してるようなもんです。もう少し大きく（中間的大きさ）になるとシステムとして非常に変化がバラエティに富む様になる。大きくなりすぎると大数法則にしたがってしまいう。系としておもしろいのはある程度大きさ、中間スケール大きさです。しかし中間スケールくらしい系でも孤立していると始末に悪い。なぜかという系が外界から孤立化すると、系はいろんな状態を行ったり来たりして、ただ揺らいでいる。これを少し外界と相互作用させると（エネルギーを出させるとかエントロピーのやり

大学も閉じてちやいけないうですよ。といてあまりオープンになつてもいけない。自分の持つ内部的（団体としての）活力が生まれてこない。かといって閉じていたらその中に閉じてしまうので必ずしもいい状態にいかない。適当にオープンシステムになつていることが大事です。僕は大学というのはクロードは絶対ダメだけど、オープン（開き）すぎもよくないと思うのです。

か？

沢山ある自由度の中から有効な揺らぎを如何に見いだせるか？

系というのはたくさん自由度があつてあらゆる方向に動く。その中である方向にすーと動くとき、何がトリガーとしていくかは分からない。世の中のソサエティでも何がきっかけで動くか分からない。これが分かればお金持ちになれる（笑）。沢山ある自由度の中から有効な揺らぎを如何に見いだせるか？。これがわれわれのやつてる方法論のひとつなんです。そういうのを時間分光法といて、時間を変えながら幾つかの光をあてて系が如何に変化していくか、どんな有効な揺らぎがあるのかを研究する。そういう方法が最近開発されつつあります。時間的には分子の運動ですからすごく速いです。10のマイナス15乗秒というレーザーを何発も使つてやっています。とても難しい実験と理論です。我々（理論）は、カリフォルニア大学のフレミング教授たち（実験）と一緒にやってきました。このフレミング教授というパークレーの教授はむちゃくちゃえらいですよ。彼、この有効な揺らぎを調べるのに7年位かけたのです。すごく大変な実験で、なかなか結果が出てこなかった。やっと実験に成功したのですが、最近、実験装置を分解



してしまいました。そういう大変な仕事は米国では続けていけない。日本のほうが動きが鈍いのです。鈍いという言葉は悪いが、もうちょっと余裕があるんですよ。

研究成果、評価評価というけど研究では「単なる評価」はやってはいけない。研究のインプット「目的」とアウトプット「結果」が1対1なら研究ではない。研究とはわからないことをするのであって、わかっていることをしても研究ではない訳ですからね。今アメリカの一番の問題はフアンディング（研究研究費配分）をするときにピアレビュアーが沢山います。多くの場合、いろんな人が見てするの

で結果が分かることしかお金が配分されない傾向が出てきてしまっています。すると研究がものすごく矮小化してしまいます。話を聞いていて聞いた瞬間答えがわかるような仕事の連続になります。見える方向ばかり行くから、それは見える範囲では正しい方向に行くんです。しかし本当の答は山の向こうにあるかもしれないでしょ。だから僕はアメリカやイギリスの方法は真似しないほうがいいと思います。といって何もわからないまま鉄砲を撃っていたらこれは全くの無駄遣いです。さあどうするといわれてもこれは分からない。ただ本当に何年もかけていい仕事

する人と、本当に何もしない人の差は初めは分からない。たぶん10年たつたら分かるでしょうね。さっき言った真の愚と大愚の違いが。真の愚の人が本当は大愚かもしれないですね。大愚が数年に一個でも出てくれば

いいんですよ。そういう典型的な例は、ウイルソンです。「くりこみ群」ということを作った人ですが、コーネル大学のハンス・ベーターという人のところにいた。確か7年位論文出さなかった。周りの人は論文を書かない人はやめさせろと言った。ベーターというのは偉い人だったんでこいつは出来るんだからとほつといた。そして7年位経って書いた論文がノーベル賞なんです。本当に新しい仕事は精神的に「異常」でないとできませんよ。「あること」が大切と信じ込み必死にやる。そういう生き様（ざま）ですよ。

加藤 先生の体験もふくめて学生・院生にアドバイスを願います。

大峯 僕は大学院はアメリカで教育を受けたのです。ちょうど東大を卒業したとき大学闘争が始まりそれでアメリカに行つて学位を取りました。それまでは全然勉強せずに山登りやスキーばかりしていました。アメリカで教育を受けて一番よかったことは、アメリカの教育は激しい、それで力をつけてくれることです。「いざという時に何とかなる」を学ばせる。なんか体育会系でしょ。1週間4科目しか

なく、1科目につき週に3回1時間ずつ教えるから1週間で12時間の授業があり、1科目につき1週間に10〜15時間かかる宿題をやらせる。その宿題たるやすさまじい内容のものがある。トップ論文に近いぐらいの内容でね、基本的アイデアだけ教えてくれて後は自分で解けと。しかし、どうやっても解けそうにない。そのようなものがどんどん出されて、解けずにCを取ったら退学です。学部レベルはDをとったら退学ですが、1個でも退学の対象になり、2個取ったら必ず退学です。だからものすごく大変なので、必死で勉強する。解けそうもない問題を必死に解いていると、解けるようになる、この体験です。考えれば何とかなるということを学んだこと。これは大きな力です。教育問題、企業でも問題解決型とか言っていますが、いちばん簡単なのは「失敗したらお前は退学だ」と言えばみんな勉強する。僕は恐怖政治と言っています（笑）。

河合 それで学生が凍りつくわけですね（笑い）。

大峰 いや、私はいま温情主義だからいけないですね。学生さんが私達の子どもとほぼ同じ歳なので

「考えれば何とかなる」「何とかする」といつ信念を持たせることが大切

きつくなれないのです。学生のた
めにはさつき言ったような教育は
必要だと思う。学生の頃にいちば
ん大切なのは何しろ「考えれば何
とかなる」「何とかする」という信
念を持たせること、持つことが大
切だと思う。それさえ出来れば何
もこわいものなんかありませんよ。
河合 今の若者は最初からあきら
めているような……。

「物はシンプルである」とい
うことをまず感じてもらい

大峯 そんなこともないですがね。
僕のところでも一生懸命やってて
できる学生が多いです。けつこ
う若いときに、大きな問題〔研究〕
を解いちゃうような学生がいます
よ。ただ一般に日本の学校の問題
は、知識は授けるけど知恵は授け
ない。知恵とは何かというと、先ほ
どの体育会系ではないですが山登
りでも登れば何でもいい。どん
な登り方でもとにかく登ればい
いという自信があればいい。僕は

日本でもやってみよう。僕はアメ
リカのものであまり好きでないも
のがありますが、あれだけは良
かった。人に対する信頼度は必ず
ありまして、それとものと大事な
のは考えることは実体なんです。
日本の学生は与えられたマニユア
ルであり、学生だけじゃなく社会
自身が与えられたものだと思う
じゃないですか。ところが学問で
も何でも自分の持っている実体が
先へ先へといく。例えば農業であ
り、職人さんの物づくりとかと
まったく同じです。だから手に染
み付く。ほら板前さんの修業のよ
うな。あれをやらなければならな
い。鍛えるのは長くする必要はあ
りません。2、3年そういう環境
に放り込む。とにかく僕が学生に
は「物はシンプルである」というこ
とをまず感じてもらい、必死に
なって解いてみる。このような教
育の与える力、日本の大学が問わ
れるのはそこなんですよね。だか
ら私が研究科長になって一番やろ
うとしているのは教育改革なんで

す。

河合 学生たちと実験をするとな
る子と出来ない子が両極端に分
かれる。出来ない子は優秀で何を
やってもそつなくこなすが、いざ
目の前に起きてくる、例えば煙が
出て何か燃えているのにそれが分
からない。よく分かる子は真面目
に勉強しなくてよく遊んだ子です
が、実体としてそういう経験を
たくさん積んでいて何が起きてい
るか早くわかる。

大峯 そうでしょうね。だけど一
方で学問的裏づけも大事で、たと
えば技術の方からここが押さえど
ころということ系統立てて教え
てもらおうと早いですよね。と同時
に自分の工夫というものがあつて
それがきちんと回っていかなくて
ばならない。教育というのはそこ
の部分なんですよね。だから実体
験のない知恵の伝授というのは何
の意味もない。知識と知恵が一緒
にならないと意味がありません。
加藤 名大が独立法人化を含めて
これから変わるということもあり

ますし、理学部・理学研究科がこれ
からどんな方向に変わっていくの
か、大学の状況のお話をお願いします。

大峯 法人化は怖がることはない
と思います。変化のあるときは基
本線さえしつかりしていれば恐れ
ることはない。ただやはり、われわ
れが長年にわたって培ってきた変
えてはいけない部分と、また変え
なければいけない部分があると思
います。研究面から言えば、例え
ば、物理なら物理、化学なら化学と
ある程度エスタブリッシュがあ
り、そこから新しいものが出るの
がほとんどですが、本当に新しい
ものは、多くの場合まったく違
うところから生まれてくる。例えば、
柳田さんという方ですが、電子工
学をやっていた人がシングルモレ
キュルディテクション（一分子
観測）という一つの分子がどう
やって運動をするのか、生物の中
は個々の分子運動の固まりです
から、それを見ることができるよう
にした。この分子一つひとつの運動
が分かるようになって生物学が大
きく変わってきました。でも違う分
野から人をとるって許容量の問題
で難しいですね。出来ることが分
かっている人なら始めから入れた

いが、出来そうだと分かるまでが時間がかかる。そこは偶然なんですよ。

いま分野の境界にある研究対象がどんどん拡がってきていますね。例えば「生物ってなぜ生きているのだろう」と考えてみると、僕は分子屋だから、分子が集まってきてどうして生きる状態になるのかが基本的な疑問です。生物屋は生きているものをどんどん分解して小さくしてゆき、それを知ろうとする。しかし上からきても、下からきてもその間はなかなか分からない。ものが集まってきて新しい相が出てくる。そうして運動とか機能が出てくる。そこをどうやって見つけるかという、そんなものは物理でも化学でも生物でもない。そういう分野がどんどん拡がっていくはずです。社会現象でもそうだと思います。生きているとは何か、人間自身何かという問題はテーマですよね。だから僕は学部、研究科なんかなくてもいいと思っています。例えば文学と理学というのはまったく良く似ています。本来は一緒になくてはならないものです。というのは「人間とは何か」を知りたいのが文学で、やっぱり今のわれわれの相手としている現象もそ



「生物ってなぜ生きているのだろう？」

ういうところに行きつつあるので。それはアタックの仕方はそれぞれ違いますが、コアの部分は同じだと思えます。そこを多面的に見るシステムが必要だと思います。化学とか物理、人文などがもつとフレキシブルに混じりあいながらいけるシステムを作ることが大切ですね。「家」は単に家で、家というのとは何かと言えば化学というのも家だし、物理というのも家です。人はその家々からどこかへ出かけていってもいい。そして混じり合うフィールド、僕は柔らかなシステムと言っていますが、そういうものを作り上げることが必要であると思っています。いままで大学はいろいろな壁があつて大変です。

加藤 生協に関わつてのお話をお願いします。生協への要求とか。
大峯 僕自身の個人としては、生協はものすごく役に立っています。理論家ですから研究というのはじつと考えています。99・999%はうまくいかないわけですが、うまくいかない時にどこに行くかという生協に行くわけです。生協に行つて物を買うのです。生協の良いところは、またいろんな活動があるでしょ。写真屋さんがあつたり、文房具があつたりレコードがあつたり、もちろん本もね。ああいうところで大好きなんです。ああいうところで物を見たり、買ったりとスカツとするんですね。僕は、ものを考えていて

行き詰まつたときどうするかという二つある。一つはいま言ったように生協に行く。もう一つは廊下を掃除するんです。いまはやりませんけど昔は便所の掃除もしていました。掃除というのは、やればきれいになります。リサーチというのはいくらやってもきれいなにならない。ますますわからなくなるだけ。何か物が動いたり変化する、そいつを見たい。リサーチというのはただパワーとしてるんです。分かるときは瞬間に分かるのです。学生の話聞いていて、何か違うな一と思つていながらハツと分かるんです。その状況に行くまで、すぐくフラストレーション溜まるんです。そんなとき掃除する方がいいんですよ。だから私の研究室の近くの便所はきれいだったですよ。一度、学生が訪ねてきまして、僕の授業をとつたらいいんです。僕の姿を見て「大峯先生のお部屋はどこですか?」。僕を掃除のおじさんと間違えたらいい。僕は言いました「大峯先生の部屋はそこです」。置いていったレポートの名前を見て僕は×をつけましたけど。いや、ごめんなさい。生協の話だったですね。僕は名古屋の前、分子研に11年いたんですね。あのころい

生協は大学の文化の中心でなくてはいけ ない。その人たちの一つの反映ですからね

ちばん大学が羨ましかったのは生協なんです。研究所というのはすべてが機能的に動いています。大学の中心には無駄とは言いませんが、違う人間の生活空間があります。あれですごく大事なんです。だから僕の研究はやっぱりこつち「名古屋」のほうが進んでいます。

ハーバードの生協(COOP、クープ)に行ったことありますか。今井 ええ、一度だけ。

大峯 クープというのは街の中に入り込んでいて、あそこ自身が文化的センターになっているんです。たとえば本でも素晴らしいですね。生協は大学の文化の中心でなくてはいけません。そこはその人たちが集まる空間ですから、その人たちの一つの反映ですからね。名大生協にも本は素晴らしいのがあると思います。もう一段あり得るかなという気がします。もう一つは、これは商売の話ですが、ハーバードにはハーバードのマークがありますよね。名大には何かいいのがないんですかねえ。生協の「名大地ビル」と

いうのをよく飲ましてもらっていましたが、生協のブランドというのをもう何かできませんかね。文化的側面としての生協のもつイメージ、それはけっこう大事な要素なんですねえ。たとえばクープに昔はレコード屋があった、そのレコードのコレクションたるや素晴らしい。店に2、3人の詳しい人がいて運営していたようです。ケンブリッジ大学「英国」のまわりの本屋さん(生協ではないけど)には、本のこと聞くと、何でも知っている人が必ず一人いるんです。聞いた瞬間、何千冊という本のどこに何があるというのを教えてくれます。あの文化的側面というのはいくら大きいんです。職人さんというか、なんて言ったらよいのか、そういう担い手がいるだけで変わりますね。名大生協にもいい方がいらっしやるのを僕は知っています。だからもっと大きくしたい。ただ場所がねえ。観光バスが生協の前に止まるようになるというんですけど。

僕は生協に行つてはCDを買つてきて、山ほど買ひましてね。仕事し

ながら聞いてます。こんどは違う衝動買いやつてますね。研究科長になっていろいろ頭に来るもんだから。こんどはCDを聞かないのに買う。買うだけで暇がなかなかありません。

今井 うちの森川(書籍部)が言つてました。大峯先生は、ささつと来てささつと買つて、ささつと帰つて行かれると。

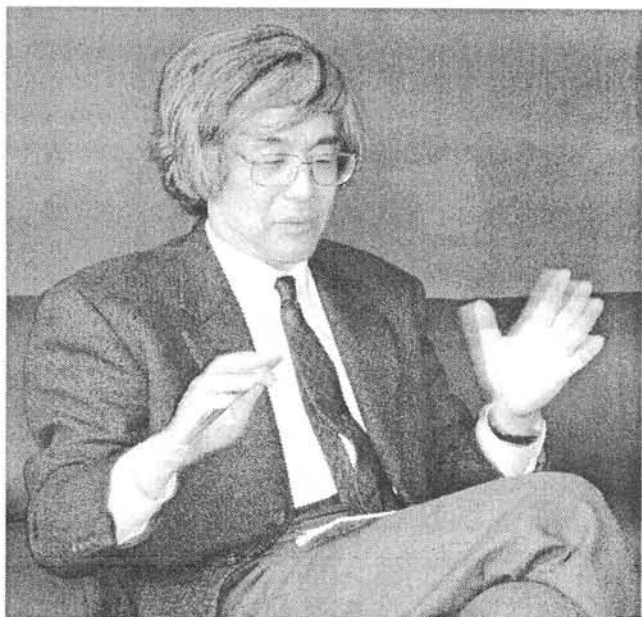
大峯 そうですか。僕が研究が進んでいるときは生協にいくのが多いのです。プラスチック溜まるからすぐ生協に行くんです。行かなくなつたらほとんど研究が進んでいないときです(笑)。僕のクリエーションの場ですからね。

今井 いま地下鉄の駅に近い工学部の新しい建物が建築中ですが、その地下にコンビニエンス的なお店、一階にはオーブンカフェのような憩えるような場をぜひつくりたい。土日もふくめて営業して、市民の方、図書館を利用される方にご利用いただけるような場がつかれないかとご相談させていただいています。

大峯 僕のアドバイザーでは、生協は家みたいなおとろがいいと思つています。空間的に憩えるというのは、ビルディングで分かれてスーパーマーケット的なものじゃない。おうちがあつてその中にいろんな物が入つていてというほうが、親近感というか、中に居るといふ感じがすると思ひます。

今井 理系の福利厚生施設ができていかなとも思つていふんです。理科系地区には食堂しかなくて、本と物を販売する施設がない。ミニショップはあるんですが。こんど環境学の建物が出来まふし、なんとか理系地区に総合的な福利厚生施設が出来ないかと思つていふます。

大峯 ただ僕は一カ所に集まつてゐる良さもあつて、あまりばらばらになると、それぞれ小さな規模になつてしまふ。ある程度の規模があつてパライティが生まれることによつて面白さが出てくるというところがあると思ひます。多面的な良さと言ひますか。これつてすごく大事でね、ある大きさがないとバラエティというのは広がらないですよ。でないとコンビニエンスのお弁当みたいなになつてしまつて。だから作られるんなら、ある程度のまとまりがあるほうがいいと思ひます。



今井 新しい取り組みなんです。環境学の高野先生、情報文化学部の児玉先生にお願いして、新入生の方にセミナーを提案しています。将来自分が大学院に進むとして、自分はどういう研究がやってみたいか、考えてもらおうセミナーをやってみたらどうかと提案したら、いま200名ほどの応募があります。いま書籍部の森川と丹羽を中心にお手伝いがしたいと考えています。

大峯 先生方がそういうの始めたから、学生もやったらいいですね。ほんとにユニバーシティであってほしいと思うんですよ。

僕はシエークスピアって大好きなんです。文学、詩を読むのが大好きなんです。そういう人たちと会ってみたいですね。

河合 僕は音楽が好きで、職員合唱団をやっているんですが、名古屋大学には芸術系がないものだから音楽はやりにくいですよ。ところが面白いもので、学生さんの合唱団は6団体あります。その他の音楽系の団体もたくさんあって名古屋大学は不思議です。ところが学内で何かコンサートをやろうとしてもできない。

大峯 やりにくいですよ。ほんとはグリーンベルトの上と下の地区に木のホールを作ればいいんです。2〜3千万円でできるでしょう。ハーバードの授業にミュージック

[Music Course]があるんですけど、その先生たちが教えていたのがヨーロッパだったりするんです。そういう先生たちが一年生に教えるわけですが、音楽とは何か、人間の社会の中で音楽がどう位置づけられるか。歴史的な背景から現代音楽まで全部やる。人間の持つていた音楽にたいする共感とか、知恵とか全部が見えてくる。素晴らしいですよ。

河合 日本では小澤征爾氏あたりにやってもらうようなものではないか。

大峯 そうですね。そのくらいのことやればいいんですよ。大学というのはそういう場ですからね。ぜひ、そういうのを生協で実現してください。

河合 名大でも先日博物館でコンサートがやられましたね。

大峯 だんだん始めるようになりましたね。

河合 加藤学長のとき、シンポジオンにピアノとハープシコードを置いてほしいと要望してたんですが、実現しませんでした。

大峯 僕が水で大金持ちになったら置いてあげましょう(笑)。いや摩訶不思議な水、たくさんあるんですよ。パイウォーターってご存知ですか。売っているのを。水というのはH₂Oでだいたいここが90度になっています。それは電子的に90度曲がっている。豊橋に喫茶店があります。そこに行くときパイウォーターがあります。100円入れると出してくれます。それはH₂Oこれが真っ直ぐになる。これがπ、180度って意味ですよ。飲むと元気になるといいですよ。それはそうですね、これを真っ直ぐにするためには、エネルギー的には温度を2万度にするのと真っ直ぐになる。2万度のお湯を飲んだらだいたい元気になりますよ。もつと面白い話があります。純水は身体にいいというわけです。純水って高いんですよ。その純水は100cc6千円かな。そこには高いからスポイドに入れて、水道の水で薄めて飲むと書いてあるのです。それを見てこいつは天才だと思いましたね(笑)。いろんなおもしろい話がありますが、ほとんどウソですよ。ただし水を飲んで悪いことではないですよ。

加藤 楽しいお話をありがとうございました。

大峯 じゃあ、6年かけた水が凍る結果をコンピュータの上で見せましょう。

(このあと、コンピュータ画面を見ながら、また水が運動する音を聞きながら説明をしていただきましたが、文字だけで再現するのは難しく、割愛させていただきました。聞き手は今井専務理事、加藤理事室長、河合理事、箕浦常務理事、柴田理事。インタビュアーは2003年3月27日、研究科長室にて)

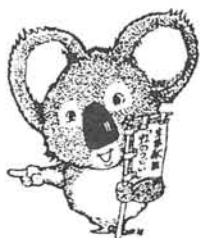
初夏の北部生協まつり

(6月17日～20日)

教職員委員会の企画案内

第29回 献血助け合い活動

月日 6月18日(水)
19日(木)
時間 11:30～16:00
場所 VBL前駐車場



まつりビアガーデン

月日 6月20日(木)
時間 17:30～19:30
場所 北部厚生会館2階
「ゆ～どん」にて



ほかしの販売

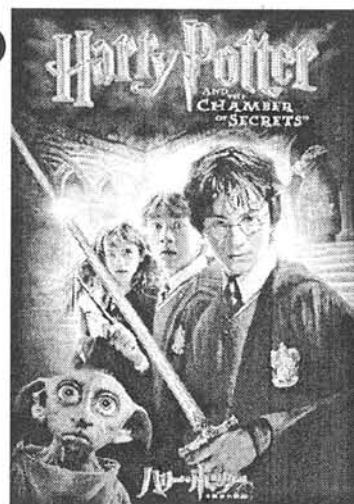
月日 6月18日(火)～
時間 終日
場所 北部玄関前テント内

生ゴミはボカシを振りかけ有機肥料にし、
ゴミを減量しましょう。

映画(ビデオ)上映会
入場無料

ハリー・ポッター と秘密の部屋

月日 6月18日(水)
時間 17:30～
場所 ゆ～どん
(北部厚生会館2階)



意地悪な叔父家族との窮屈な生活に戻ったハリーの部屋に、ある日、屋敷しもべ妖精ドビーがやってくる。そしてハリーに「ホグワーツに戻ってはなりません。恐ろしいことが起きようとしています」と警告した。しかしハリーはドビーの警告を無視し、新学期を迎えたホグワーツ魔法学校に戻ることに。しかし、そこにはハリーを陥れる恐ろしい陰謀が待っていたのだ。そしてホグワーツの暗い過去が明かされる時、ハリー、ロンに危険が迫る！

初夏の北部生協まつり企画 まつりビアガーデン 割引券(全品10%Off)

合計金額の10%を端数10円単位で割引きます。
い づ：6月19日(木) 17:30～19:30
どこで：北部厚生会館2階「ゆ～どん」にて
メニュー：生ビール 400円
名大学章入り地ビール 400円
(お持ち帰りは割引対象外)
おつまみ(1品) 150円
(枝豆、串カツ、焼き鳥、焼きそばなど)

企画は名大生協教職員委員会

初夏の北部生協まつり企画 まつりビアガーデン 割引券(全品10%Off)

合計金額の10%を端数10円単位で割引きます。
い づ：6月19日(木) 17:30～19:30
どこで：北部厚生会館2階「ゆ～どん」にて
メニュー：生ビール 400円
名大学章入り地ビール 400円
(お持ち帰りは割引対象外)
おつまみ(1品) 150円
(枝豆、串カツ、焼き鳥、焼きそばなど)

企画は名大生協教職員委員会

「地震！ そのときあなたは？ —揺れと被害—」

講師：福和伸夫（名古屋大学大学院 環境学研究科都市環境学専攻 教授）

名大生協教職員委員会では、新しく名古屋大学の教職員・院生になられた方々を対象に行う新入教職員・院生歓迎生協ガイダンスの中で、環境学研究科の福和伸夫先生にお願いして上のような演題でお話をさせていただくことにしました。

2002年、想定東海地震の震源域が見直され、200万都市名古屋も地震防災対策強化地域に指定されました。また、近い将来想定される東南海地震では東海地震を上回る揺れが想定されています。2万人の学生・職員を擁する名古屋大学も真剣な対策を迫られています。この間、着々と建物の耐震対策が進んでいますが、肝心なのは大学に勤務する我々一人ひとりの意識にかかっています。私たちだけならまだいいのですが、多くの学生達を預かっている大学としてきちんとした対応策を考えていく必要があります。「自分の命は自分で守る」「自分たちの命は自分たちで守る」が防災の基本です。02年度発足した名古屋大学災害対策室では、名古屋大学の防災力向上を積極的に支援し、災害時の行動指針を策定していくことになると思います。せっかくの機会ですので新入教職員・院生に限らず多くの組合員の皆さんに聴いていただきたいと思います。お気軽にご参加ください。

日程：2003年5月14日（水）17：30～19：45

17：15 受付開始

17：30 生協の説明

学内団体・文化サークルの紹介

18：15 特別講演

「地震！ そのときあなたは？ —揺れと被害—」

19：00 夕食懇親会

19：45 閉会

会場：グリーンサロン東山 ミーティングルーム

夕食代：500円（懇親会負担、新入教職員・新入院生は無料）

申込み・問い合わせ先：kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

TEL：内線3311（皆川：工学部電子機械技術室）

主催：名大生協教職員委員会

名大祭「ミニ平和資料館」に集まれ！

Webで世界中に平和のメッセージを送ろう！

平和憲章委員会は名大祭で「平和憲章」を題材とした企画を実施します。

開催期間：6月7日（土）～8日（日）

会場：共通教育棟42番教室

ミニ平和資料館の内容

- イラク戦争の実態や問題点をわかりやすく展示します
- バグダッドの大学とWeb&E-Mailを使って交信できます
- 平和団体のWebサイトを紹介します
- 平和のメッセージを国連等に送信可
- ユニセフの物資販売にご協力下さい

平和憲章委員会は学生自治会、名院協、名大職組、生協理事会、生協労組で構成されています。

★ 名古屋大学平和憲章委員会 ★



NO WAR



4月21日、名古屋大学消費生活協同組合4月度理事会において、米英軍によるイラク攻撃に反対して、以下のアピールを採択しました。紙面に紹介させていただき、平和を求める国民として組合員のみなさんと、戦争について、平和について一緒に考えていきたいと思ひます。

■イラク攻撃に対する理事会アピール■

【1. はじめに】

生協は、自分たちの生活の向上や安全を願う人たちがお金（出資金）を出し合い、自分たちのためにさまざまな活動をしていく組織です。そこで、生協は「よりよい生活と平和のために」という理念を掲げています。ここで「平和」が強調されているのは、「よりよい生活」を送るためには「平和」が欠かせない、という認識に基づいています。この理念に基づき、生協はユニセフと協力した募金活動、広島・長崎・沖縄への平和を考える旅の取り組みなど、さまざまな平和活動を行っています。私たち名古屋大学消費生活協同組合（以下、名大生協）もまた例外ではありません。

このような理念に基づき、私たち名大生協理事会は、組合員の皆さんに対し次のようにアピールします。

【2. 事実経過】

3月20日、米英軍による首都バグダッドへの爆撃によってイラク攻撃が始まりました。

イラクについては、かねてより大量破壊兵器を保有しているとの疑惑があり、国連監視検証査察委員会（UNMOVIC）などが査察を行ってきました。しかし、今年になって、米英などが査察は十分な効果を上げていないと主張し、査察を打ち切り、イラクに対する武力攻撃を求める決議案を国連安全保障理事会に提出しました。結局この決議は採決に至りませんでした。米英は安保理決議のないまま武力行使に踏み切りました。

【3. 問題点】

国連憲章は、武力の行使及び武力による威嚇を原則的に禁止し、その例外をわずかに「自衛権の行使の場合」「安全保障理事会が決定した集団的措置の一環として行われる場合」に限っています。イラクによる先制攻撃がなく、また、安全保障理事会決議1441号及びそれ以前のいかなる決議も米英軍にイラクに対する武力攻撃を授権するものではない以上、米英によるイラク攻撃は国連憲章に違反します。

また、そもそも戦争は罪もない一般市民を殺傷し、その住居を破壊するものであり、戦争からはなにも生み出されません。現に新聞報道によれば連日のように「誤爆」などによる一般市民の被害が伝えられています。また、直接戦闘に巻き込まれずとも、食糧や医療物資の不足によって死に追いやられる人々もいます。

もとより、フセイン政権による圧政は支持できるものではありません。しかし、だからといって、米英による攻撃が正当化されるわけではありません。

【4. 組合員の皆さんへ】

私たち名大生協理事会は、平和を愛し戦争を永久に放棄するとした憲法をもつ日本に住む者として、また、「よりよい生活と平和のために」という理念を持つ生協の組合員として、今回の米英によるイラク攻撃を非難し、米英を支持する日本政府には、日本国憲法を遵守して行動することを求めます。同時に、今後の「復興」の過程においてイラクの人々の意思が尊重され、また、真に民主的で人権の尊重される国づくりが行われるよう求めます。

組合員の皆さん、あなたはこの攻撃について、また平和についてどうお考えですか。この攻撃の意味するもの、平和の尊さを一緒に考えていきましょう。

2003年4月21日
名古屋大学消費生活協同組合 理事会

チリにて

理学部 河合利秀

4月9日、名古屋からロサンジェルスマで約10時間、サンパウロまでさらに10時間、乗り継ぎに約3時間、サンチャゴまでさらに3時間あまり。やつぱりチリは遠かった。

しかし、アンデスの万年雪をかぶった峰々を眼下に見て感激。

アンデスの峰々には決して消えることのない氷河が横たわり、孤高の峰々は凜としてそびえている。あの山々はずっと人間の進入を拒否したであろうに、古い文明が栄えていたとは驚異である。

現在でも、戦争も仕掛けられない天然の要塞となつて、東西を遮断しているのだ。

サンチャゴは大きな街だ。人口700万人。近代的な地下鉄も通る。サンチャゴの上空をスモッグが覆い、アンデスの峰々を伺うことはできない。表通りの看板の裏には瓦礫のようなものも見える旧市街と、近代的な

たたずまいの新都心、しかし、埃っぽい空気にスモッグが混ざり独特な香りが鼻を刺激するとは同じである。

ストリートチルドレンはいないものの、交差点には大道芸人が僅かな信号待ちの時間にもジャグリングなどの芸を披露し、チップをほしがる。物売りもたぐさんいる。その中に子供の姿もあつて、どことなく貧しさが伝わってくる。表通りに面した部分は何か建物の体裁を整えていても、その奥の瓦礫のような街は、どことなく南アフリカのスラム街を思い出す。

国会議事堂などのところまで来ると、さすがに首都らしい体裁はあるものの、この国が依然として米国の経済支配に苦しめられていることを実感する。軍事クーデターでアジェンデを撃ったピノチエットの銃弾の跡が旧大統領官邸にまだ残されているという。この傷跡は、チリの人々にとって決して消すこと

のできないものなのだ。

クーデターで傷ついた国家と民衆が、軍事独裁政権を打ち倒して、ようやくその傷を癒すだけの時間はあつた。しかし、アジェンデやピクトル・ハラは帰つてこない。

思えば23年前、この国の人々は選挙によつてアンチ米国の首領をえらんだ。左翼の一大連合を率いたアジェンデ人民連合政権の誕生である。チリの人々は、働いても働いても不当な報酬しか得られず、米国資本に搾取されていたものを、この時初めて「No!」と言つたのである。

しかし、このような「勝手な振る舞い」を米国が許すはずがない。銅などの豊富な鉱物資源の利権を手放さないためには、あらゆる陰謀も許された。ピノチエットは米国の誘惑に乗り、祖国を売り渡したのだ。

チリは長く親米政権の下で民主主義は圧殺されていた。親米政権は米国企業から多額の賄賂を得、米国の利権を守る番犬として忠実に自国民を搾取するために懸命に働いたのである。当然人々の生活は苦かった。

チリの民衆には歌があつた。日本でもおなじみの「フォルクルーレ」である。詩人パブロ・ネルーダは「最後の詩集」のなかで「農民よ自らの手で運命を切り開け!」と呼びかけた。ピクトル・ハラはそれを「フォルクルーレ」のメロディにのせて歌つた。瞬間にその歌はチリ中に響いた。こうして次々に新しい歌が生まれ、若い人々が歌い広めた。「新しい歌運動」である。「新しい歌運動」は虐げられた人々を奮立たせた。

「新しい歌運動」とはピクトル・ハラが中心となつてはじまつた音楽運動であり、政治運動であつた。「新しい歌運動」は、それまでの伝統的なフォルクルーレを母体として、まだ掴めぬ「自由」への渴望や外国の搾取を告発した。チリ工科大学などの学生運動がこれに呼応して「キラバジュン」や「インティ・イリマニ」などの優れたフォルクルーレ・グループが誕生する一方、多くの学生達が農民や労働者の中に飛び込み、またたくうちにチリ中に「新しい歌運動」がひろがったのだ。

「新しい歌運動」は自由に物の言えなかつたチリの人々に勇氣

を与え、民主化運動が高揚した。その結果、アメリカの言いなりにならない自分たちの政府を選ぶ時を迎えたのである。

この先頭に立ったのがアジェンデ率いる人民連合であった。アジェンデたちは選挙に勝利するやいなや、ただちに改革に着手した。米国にその権利を独占されていた鉱山をチリの人々の手に取り戻すためである。

だがそこには、苦難の道が用意されていた。米国がこの様な「自由」を南米諸国に許すはずがない。米国は直ちに経済封鎖を行った。チリ経済は混乱し、チリ国民は辛い生活を余儀なくされた。そしてとどめは軍事クーデターである。米国政府は、チリ国民の意見に従うのではなく、民主的な選挙で選ばれたアジェンデ政権を、銃剣によって破壊したのである。CIAはかつての軍部や保守的勢力をそのかし、クーデターを用意したのだ。周到に準備されたクーデターは、アジェンデと人民連合を、そして新しい歌運動のリーダー達をこの世から抹殺したのである。

ピノチエットは世界人権委員

会から訴追され、人道に反する罪を問われている。サンチャゴのサッカースタジアムで、6万の目の前で、ピクトル・ハラは両腕を切断され、殺された。みせしめである。このような残酷な行為が無数に繰り返されたのだ。

しかし、いま、チリの人々は毅然と米国の要求を「No!」と言ってはねのけた。イラク戦争に同意しなかったのである。チリ政府は、米国の手前勝手な言い分に、そして誘惑に負けなかった。

それに比べ、日本の政府は何と愚かなことか。米国の誘惑に中立国が靡くだろうとしか考えて「国連主義を貫く」と言っていた小泉首相は、米国が支持されない可能性を予想できなかったのだ。そして、米国が大儀なき「イラク攻撃」を始めた瞬間、「国連主義」は跡形もなく忘れ去られ、米国を支持した。

このことは日本の子供達に大きな陰をさしている。約束は守らなければならぬと学校で教えているのに、子供達が最も強く反応しているではないか!

「どうして?」
「分からない!」

教職員委員会活動日誌 (2003年3・4月)

月 日	事 項	場 所
2.28-3月1日	2003年度上期方針合宿	吉良温泉
3月 5日(水)	3月度常任理事会	ゆ〜どん
6日(木)	総代会プロジェクト	南部食堂ホール
7日(金)	春期全員集会	南部食堂ホール
17日(月)	3月度理事会	フレンドリイ南部
18日(火)	総代会プロジェクト	南部食堂ホール
27日(木)	理学研究科長インタビュー	理学研究科長室
28日(金)	3月度教職員委員会	ゆ〜どん
4月 1日(火)	総代会プロジェクト	南部食堂ホール
7日(月)	4月度常任理事会	ゆ〜どん
14日(月)	総代会プロジェクト	ゆ〜どん
21日(月)	4月度理事会	理系中華食堂ホール
24日(火)	総代会プロジェクト	ゆ〜どん

- 私の百名山 -

平ヶ岳 (2141 m)

中條 保 (農学部)

はじめに

尾瀬燧(ひうち)ヶ岳に登る予定だった私は、越後駒下山後の銀山平温泉に浸かりながら、これから向かう途中に深田百名山の『平ヶ岳』が有ることに気づいた。うかつにも尾瀬に向かう途中の道すがらに有ろうなどとは調査不足も甚だしい。しかもそこに登ろうなどと安易に変更することも山登りには邪道である。そういう冒険心、ストレスも必要な場合もある。と急遽登ることに決心する。山の位置をおさらいすると新潟県と群馬県、福島県の県境にあたる三角地帯は交通の不便と言うより公共交通では入れない山深いところに位置する。深田百名山だけでも巻機(まきはた)、越後駒、平ヶ岳、会津駒、燧、至仏の百名山が集中する。その周囲には、苗場、谷川、武尊(ほたか)、皇海(すかい)、奥白根、男体の山々が取り巻く名山の宝庫で、利根川、信濃川の二大大河の源流域である。しかもこの平ヶ岳は、地図上のコースタイムを加算するだけで13時間ほど要する。食事や休憩

時間を考慮に入れると山二つ分ほどになり、日帰りにはきつい日程だ。夏だから挑むことのできるチャンスでもある。

鷹ノ巣駐車場

途中ダムに流れ込む沢水をペットに補給する。国道とは名ばかり、その路沿いに開拓農地

に数軒の農家が点在する中をレンタカーで走る。陸の孤島とって過言ではない。心細いくらい静かで人気がない。雪解けと共に耕作に入るのか、芽を出したばかりのソバが時かかれていた。16時30分鷹ノ巣駐車場に着いた。20台ほどの駐車スペースに11台が駐車中。道路反対側の



未舗装部分にも20台ほど駐車可能か。早速、夕食と翌日の準備をする。隣に京都の宇治市から来たという定年後の登山者がいて車中泊で登山を続けているという。百名山にこだわらない、大小無名の山にも登る本格派で1000山踏破に近いという。山名の入った特殊な日本地図にマーカーを施してある。彼も明日は平ヶ岳に登り、明後日は会津駒ヶ岳に登るといふ。私と同じ予定である。話しながら、私は夕食づくりを急いだ。昨日と同じニンジン、タマネギ、ピーマン、エノキ入りのラーメンを作り、明日のおこわパック2個を暖める。レンタカーなのでスーパーでの買い物も豊富だ。おまけに缶酎ハイとキウリ、桃のデザートでスタミナ維持だ。

宇治市の彼は食料が少なく、買い物に町まで下りなければならぬと言っているので、私は昨日スーパーで買ったタマネギ、ニンジン、ピーマンをあげた。私は明後日には下山し東京に戻らなければならぬから、いづれ余分だから。夜半11時頃、雨が激し

く降る。1時頃にも目覚めたが降っていた。

早朝鷹ノ巣出発

3時30分目覚めると雨は上がっていた。急いで準備し、53分ヘッドランプを付けて、駐車場脇の樹林の中の未舗装林道に入ってゆく。20分ほど歩くと林道と別れ、右手に登山道に入る。植林山を過ぎると東西の痩せ尾根に取り付く。

雨上がりの霧が立ちこめる馬の背の痩せ尾根は切り立つて両側の谷に落ち込んでいる。高木はなく、伐採されて間もないのかミズナラの低木と五葉松が多い。歩き始めて1時間、小休止をしていると駐車場で隣合わせだった宇治の人が追い越してゆく。ヘッドランプをリュックにしまい長い道のりに思いを馳せる。

下台倉山

名称とは裏腹に山と言うよりは通過地点でピークはない。6時20分通過する。高年に近い単独登山者が下山してゆく。昨夜

駐車場でビークすると言っていた人だろう。(昨日の夕刻駐車場で

の会話から)。台倉山に6時40分到着。米梅の深い森でここも大きなピークはない。15分の休憩。大木と木の根が立派だ。

東西の尾根から北の尾根に渉る位置に白沢清水がある。水場になっていくが枯れている。大きな梅やトウヒの森の根元には熊笹が茂って湿地になっている。樹林の陰に青いテントが1張りあり、衣類が干してある。やがてダケカンバが増えて木道が続く湿地を行くとわき水があつて水場の表示はあるが飲めそうにな

い。

9時30分、中高年夫婦が下山してくる。言葉を交すと白沢清水のテントの主だという。先行

池の岳山頂の池



した宇治の人に会わなかったか訪ねると誰にも会わないと言つ。「卵石に立ち寄つたので、そこで行き違つたのではないか。」といふ。

池の岳

池の岳の手前の急登で休憩している宇治の人が下つてきた。

池塘はどうしてできた

平ヶ岳の池塘は、階段状に広がっている。この池塘のおいたちは、次のように考えられる。

1. 雨水や雪どけ水が斜面のどこどこにたまり、ミスゴケが生える。
2. ミスゴケが増え厚くなると、水がせきとめられ、小さな池となる。
3. 池のふちにスゲ類などが生え、さらに深くなる。
4. 長い年月がたつと池の底に泥炭が堆積する。
5. 水がかれた池塘では、泥炭が分解され、植物が生えて湿原に変わる。

環境庁・中越森林管理署・新潟県

「早いですね。」と声をかけたら、「山頂はもうすぐです。卵石には行かなかったから」と下山していった。午前10時ちょうどに山頂が平らで大きな池塘が二つ、周囲にも小さな池塘をちりばめて点在するお花畑に到着する。

木道が設置してあり、高山植物を保護している。ハイマツ、チングルマ、ワタスゲは終わり、タテヤマリンドウが青い蕾を風にふるわせて寒そうである。曇り空のせいで寒さが加わり今にも雨が降ってきそな空模様だ。平ヶ岳へはさらに西へ緩

やかに下つて行くと先端を雪の重みで折られた3mほどのシラビソの林に入る。100mほどの樹林帯を抜けると階段状の地塘が点在する草原状の平ヶ岳山頂へ木道が案内してくれる。10時35分シラビソに囲まれ風を遮る静かな三角点に到着する。ピークこそないがよく刈り込まれ山頂の標識が真新しい。その中で腰を下ろして、おこわと缶詰の昼食を取っていると中年夫婦がやってきて写真を撮って早々に帰った。私も

平ヶ岳山頂



曇り空が気になるので、昼食もそこそこに11時に出発する。平らな広い山頂を西から北に回る木道を歩く。周回するかと思っただが行き止まりで戻らねばならない。池塘群が多く、植物も多いけれど、寒さと雨模様が気になり、さらに下山後の時間も気が

山頂水場

山頂を下り初めて、登りの道と

かりで精神的にゆっくりできない。この後誰一人と出会わない、これで夏山だから静寂だ。この辺の標識は不足していて不正確。山頂で迷うところであった。

分かれ左手に「山頂水場」の道を取ると、緩やかに下っていくと30分、12時ちょうどに豊富な流れのある水場に着く。コバイケイソウ、ハクサンフウロ、キイロノシオガマなどの花畑が美しく展開する。瑞々しい豊富な花畑の美しさに感激。周囲は雪解け間もない斜面の様子だ。道はその斜面を2カ所ほど上り下りを繰り返して、途中池を通過してそのまま卵石方面に木道が案内する。卵石は東北の尾根の高台に有り、風化浸食した花崗岩が屹立し卵状の岩が岩の上に立っている。恵那峡の傘岩のようだ。数枚写真を撮り、帰路南下する道があり、近道かと思いつくが、トラバス路ではなく下りにかかったので、引き返す。標識が不十分なので地形図を時折読み返す必要がある。3つほど尾根を跨ぐ平ヶ岳は、緩やかだが距離が遠く、アプローチが深い。

前坂

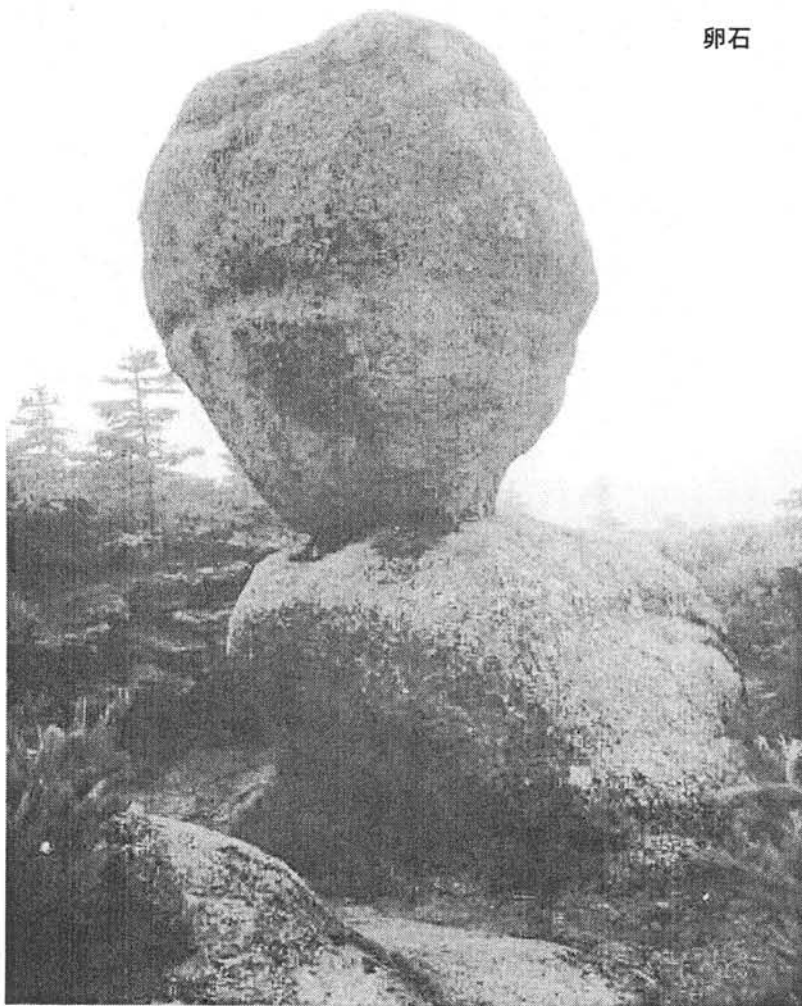
今朝登ってきた路を、急ぎ足で下る。未だ登ったばかりの路なので状況はよく分かっている

のと下り路なので下山は早い。それでも降り出しそうな空からは、ついに雨が降り出してしまった。いやな痩せ尾根に入る少し手前、前坂に取り付く辺りで降り出す。時間は15時30分、雷鳴も加わりついには本降りになってしまった。大木の陰で雨具の上下を着ける。雨宿りしても止みそうにない。時間の余裕もないので雷雨を蹴って下山する。

駐車場

16時25分、ようやく鷹ノ巣の駐車場に到着した。車は5台しか止まっていなかった。早々に雨具をたたみ、車の脇にしまくと檜枝岐温泉へ出発。一車線の片側が山、片側が谷沿いの狭い国道を対向車に注意しながら、初めての檜枝岐へ急ぐ。温泉を

卵石



探したり、翌日の会津駒への登山口を確認するためにも極力早く到着したい。地理不案内な場所なので、明るいうちには到着したいというはやる気持ちでハンドルを握る。途中の御池や尾瀬への入り口の駐車場はよく整備され、また、マイカー規制による駐車場や宿泊施設の一大モータープールになっている。雨で暮れかかった檜枝岐に午後

6時に到着。暖かい檜風呂の檜枝岐温泉にゆっくり浸かって一日の緊張と疲れを癒す。雨は依然として止まず本降りのままだ。車を登山口に向かわせると宇治の彼が先行していて、登山口の下に車を誘導してくれる。その隣に駐車して、火気を使用しない缶詰主体の夕食を取る。狭い車内で明日の準備をして就寝する。

新フィールド・ノート — その76 —

花 見

名古屋大学情報科学研究科 広木詔三

今年是比较的長いこと桜の開花を見ることが出来た。

これまでは桜の開花の時期は日本生態学会のシーズンに重なることが出来なかつたのである。一九九八年に、京都で学会が開催されたときには、幸いにも京都の桜を見ることが出来た（新フィールドノート34、かけはし二〇五号）参照。

京都は川が多く、鴨川や高瀬川のほとりには桜と柳が並んでピンクと黄緑がコントラストをなし、とても趣のある風情が見られる。今年は名古屋でもそのような光景に出会つたのであった。

このかけはしの前号において日本生態学会がつくばで開催さ

れたことに触れたが、その時期はまだ梅の花が盛りの三月二十日前後であつた。名古屋での桜の開花前線は二十五日頃という予想がほぼ当たり、私は毎日桜の花の開花していく様子を観察することが出来た。やがて三分咲きとなり、四月にも入るとはや五分咲きとなる。桜の花は花弁の裏側がややピンクがかり、萼が赤いので、咲き始めの頃が全体に赤っぽく、華やいで見える。四月に入つて気温が急上昇し、かなり暖かい日が続いたが、桜の開花も早まつた。桜の花は咲いてから散るまでの期間が短くものあわれの象徴となつてゐることはご存知のとおりである。ところが桜の花はなかなか散らなかつたのである。

あるところから花見の宴に招待を受けた。それは一福という覚王山の居酒屋からである。ちよつとひと息という意味の衣服に掛けた屋号なのである。ひと頃ストレスがたまり、厭世的な気分ときには、この店で元気を貰うのであつた。若くて美人で独身の女将さんと書けばそれだけで興味が惹かれるではないか。一人ですべてを切り盛りしており、店の中をかけずりまわるほど活動的である。常連は近所の住人がほとんどで、家族的な雰囲気である。ときおりカラオケが始まる。そういうときは思索するには不向きである。四月五日の土曜日に平和公園で花見を行うと言う。今年が開花が早いので、その頃には花は散つてしまふおそれもあつた。当日は雨で、風も強く、それでも花見は決行となつた。平和公園は人影がまばらであつた。

方も含めて総勢で十四、五名。一番若い者でも四十代である。残念ながら一福の女将は参加しなかつた。私は新米なのでほとんど会話には参加しなかつた。このところアルコールは控えめにしていたが、冷やの Coppo 酒を片手に雨の中を一人歩きまわりながら花見を楽しんだ。すぐ近くに池があり、そのまわりに桜と柳が立ち並んでいた。小雨まじりの中のピンクの桜と黄緑の柳の芽吹きが何となくも言えない風情を醸し出していた。私にとつて、このような花見は初めての経験であつた。この先あと何回桜の花が見れるかという年のせいもあるが、今後二度とこのような美しい景色には出会えないであろうと思えるほどの艶麗な光景であつた。雨風に晒されかなり冷え込んだが、あまりの美しさに、死んでも悔いはないという心境になつた。まわりが薄暗くなり、街灯が灯りはじめ、あと片付けをして帰るころにはすっかり暗くなつてゐた。

きれいな好きが 汚している

日本人のあまりに清潔好きが、結果として地球環境を汚くしている、という文を読みはつとした。よく日本人は、自分の家はキレイにするが、公共の場はほったらかしだといわれた。最近は大分違ってきて、公園などの清掃を地区ぐるみ手を携えてやっているところもあり、必ずしも、言われるとおりではないと思うが、それでも、車のゴミをわざわざ道路に捨てる不心得者もいる。それを注意もできないのが情けないが、こういう手合には確かに相手にならぬがいのかも知れない。駐車場で、煙草の灰皿をあげているのもよく見る。前の車のドアが開くので

変だなと思ってみていると、そこで、灰皿の掃除を

する者もいる。空き缶・空き瓶・煙草の吸い殻のポイ捨てはなかなかやまらない。一々、全部お金を掛けておくべきだろう。メーカーがいやがつてやらないだろうけれども、それくらいにしなければポイ捨てはやまらないだろう。
こんな事を書くつもりではない。
合成洗剤・中性洗剤が水を汚すこと、環境によくないことは随分前から指摘されている。特に塩素系の漂白剤は微生物を殺し、排水中の有機物と反応してトリハロメタンという発ガン性物質を作ること分かっているのである。しかもその使用がやめられない。いわゆる、石鹸では白い物が真っ白に洗えないの

だ。真っ白にならなければ、何も真っ白でなくたっていいではないか。ちょっと汚れたくらいで全部を洗い直したりするが、昔はつまみ洗いということをしてきた。それでいいではないか。水も少なくてすむ。

洗濯を一生懸命するのは結

構なことであるが、キレイにしなればいけないことは、ほかにいっぱいある。言い出せばキリのないことだが、それではキレイにするというのはどういうことなのかをよく考えてみなければならぬ。難しいことだから別の機会にする。

メイクアップ

このところ、ハッピーマンデイ計画とやらで、やたら3連休が多い。日曜が祝日だと、月曜が振り替え休日になる。月給取りには都合がいいかも知れないが、そういう人ばかりではあるまい。仕事がなくて困る人もいよう。いつもいつも3連休なら遊びに出かけ、消費するとも限るまい。何より、月曜日ばかりが、休みになるから、曜日が決まっている場合、都合の悪いことがある。月曜日の授業は欠けることが多い。

それはそうと、この振り替え休日は、その英語表示を見たら、Make up Holidayとある。ハハアーン、そうか。休日の補修か。補修された休日で、一時やかましかった、損失補填みたいな、休日補填だ。

メイクアップとはよく言ったモノダ。これを「化粧」などと同義語のように思つて使っているが、要するに、顔などの補修工事なのだ。ハハアーンよく分かった。
(T)

3・4月号
の感想

大学で知識身につかず7割

★短信の「大学で知識身につかず」が7割とあったが、痛切に身感じた。【神宮寺ゆーじ】

反戦の声を上げよう

★反戦記事を興味深く読みました。今回の戦争に関しては、名古屋大学、生協としても反戦の声を上げて行くべきかと思えますし、署名活動などがあれば微力ですが協力したいと思えます。【匿名希望】

▼理事会でアピールを採択しました。署名活動の提起はないのですが、組合員の皆様とともに今回の戦争について一緒に考える場を持っていきたいと考えております。【箕浦常務理事】

多岐にわたる内容で楽しい
★まずはじめに、応募号数は2

意見と
通信

初心者企画を4・5月に

★特にこれといった希望はありませんが、名古屋大初心者の方のためになるような企画があれば、とくに4、5月は役に立つんではないでしょうか。【ゆっか】

▼名古屋大学新入教職員・院生歓迎生協ガイダンスを5月14日（水）に開催し、生協の店舗紹介、学内団体紹介、「地震！そのときあなたは？」揺れと被害」と題した特別講演と懇親会を企画しております。組合員の方なら誰でも参加できますので、クイズの解答用紙または電子メールで受け付けておりますので是非ご参加ください。【教職員委員会・院生委員会】

百名山の中條さんは農学部!?
★質問ですが「私の百名山」の中條さんは農学部事務の管理掛の方ですか!?とても楽しく読ませていただきました。【ラクチドくん】

▼はい、農学部管理掛の方です。毎月原稿を寄せていただき、実に表現がすばらしく読んでいただけで、周りの状況が見渡せるし、あたかも自分が登頂した気分になりますね。中條さんこれからもよろしくお願いいたします。【編集部】

おいしい飯屋特集希望
★名大周辺のおいしい飯屋の特集希望。【神宮寺ゆーじ】

生協も毎年右肩上がりの経営を続けていけば、余裕を持ってそういうお店の紹介もできるのですが、現在の

の

の経営状況では外のお店で紹介で生協食堂利用者を減らすわけにはいきません。まず、生協のお店を利用していたら各お店で組合員の皆様に喜ばれる企画を開催しております。是非生協の食堂の食べ歩きからよろしく願いいたします。【箕浦常務理事】

できるだけ長く営業を

★3月4月は北部の営業時間が短く不便だった。難しいとは思いますが、できるだけ長く営業してもらえると助かります。【匿名希望】

いつか真実が明らかに

★のEMはすぐ(?)解けましたが、答えが解るまでが難しかったです。研究室の先生に教えてもらいました。だてに学位は持つていないことが分かりました。こういうのEMもいいですね。勝又先生のツタンカーメンの調査の件はとても興味深いと思えました。いつか真実が明らかになる日がくることを楽しみにしています。【ラクチドくん】

_____ アンケートに _____
_____ ご協力願います。 _____

第 247 号

クイズのこたえ _____

☆ 今月号を
読んでの感想

☆ 記事にしてほしいこと。生協へのご意見やみなさんからの通信をぜひ。

COOPクイズへの応募、アンケートの回答は、<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html> から送信できます。また、e-mail:kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp でも受け付けます。必要事項をみれなく記入してください。

第75回 名古屋大学消費生活協同組合



通常総代会

みんなで作る みんなの生協

名古屋大学生協の3つの使命

第一の使命

私達は安心・安全かつ信頼される商品やサービスの提供を通じて、組合員一人一人の健康的で豊かなキャンパスライフを支えます。

第二の使命

私達は勉学・教育・研究生活をサポートし、学びと・体験の共生空間を広げます。

第三の使命

私達は名古屋大学における研究・教育の発展を願い、協同組合の活動を通じて人間性と科学の調和的発展に貢献します。

公示

定款第53条に基づき第75回通常総代会を下記のように開催します。

記

1. 開催日時 2003年5月30日(金) 午後5時～午後8時30分
 2. 会場 南部食堂ホール
 3. 議案
第1号議案 2002年度活動報告・2003年度活動方針決定の件
第2号議案 2002年度決算報告・剰余金処分案並びに監査報告承認と2003年度予算並びに借入金最高限度額・役員報酬決定の件
第3号議案 名古屋大学生協の3つの使命と5つのアクションプラン(実行計画)決定の件
第4号議案 役員選挙の件
- *役員立候補については5月20日(火)までにその所属及び氏名を理事長に届け出て下さい。(理事会室で受け付けます)

名古屋大学消費生活協同組合

☎ <052>781-1111 (内線7540)

- 書籍(和書・洋書・雑誌)に関するご相談は ●旅行(国内・海外)・宿泊に関するご相談は
北部書籍(内線7544) 南部書籍(内線7551) 北部旅行・サービスセンター(内線7543)
医学部書籍(内線5208)大幸書籍(内線5552) 南部旅行・サービスセンター(内線7550)
- 文具・事務用品に関するご相談は 医学部旅行・サービスセンター(内線5213)
北部購買(内線7542) 南部購買(内線7549) ●印刷とデジタルデータに関するご相談は
医学部購買(内線5209)大幸購買(内線5552) 印刷・情報サービス部(内線7552)
農学部購買(内線7557)
- パーティー料理・弁当に関するご相談は
●レストラン「花の木」(内線7605) 弁当部(内線7553) 理系食堂(内線7555)